

農林漁業現地事例情報「食料自給率向上に資する取組事例」

行動計画の項目に基づいた分類：（ウ 地産地消の推進の取組）

取組名：「苫小牧産ほっき貝」を使った給食メニューによる地産地消の推進
取組主体：苫小牧市教育委員会（北海道・苫小牧市）

1 取組の背景

苫小牧市は「ほっき貝」の水揚げ量が全国で第1位であり「市の貝」にも制定されている。地産地消の観点からも、学校給食に「ほっき貝」を使ったメニューを郷土食として子供達に親しんでもらうため、平成4年1月から提供を始めた。

2 取組の具体的内容

本年度は3月2日、6日に小学校および中学校の給食メニューとして「ホッキカレー」という形で提供された。過去には「ホッキご飯」、「ホッキシチュー」などのいろいろな形で「ほっき貝」を使用したメニューが登場した。

3 取組の具体的効果

苫小牧市には2つの学校給食共同調理場があり、小中学校合わせて38校に15,709食（平成20年5月1日現在）を提供している。今年度の「ホッキカレー」には「ほっき貝」は約3.1トンが使用され、子供達にも好評でありほとんど残さず食べ、「ほっき貝」は郷土食として浸透している。

4 今後の展開方向

今後も継続して年1回は「苫小牧産ほっき貝」を使ったメニューを学校給食として提供していきたい。

5 取組に係る問題点と解決策

物価の高騰などにより限られた予算の中で、「ほっき貝」のメニューを提供するのは大変な事だが、苫小牧漁協などと連携し定着させたい。



画像

学校給食共同調理場全景



調理場全景

【情報収集官署】北海道農政事務所 苫小牧統計・情報センター

連絡先：0144-32-5345